

令和4年度 第1回愛知県環境教育等推進協議会 報告

東栄町立東栄中学校

夏目貴司

○ はじめに

- ・北設楽郡は、県北東部の3町村（設楽町・東栄町・豊根村）からなる山間地域
- ・前年度、設楽町立田口小学校における実践を報告する

1 環境教育実践報告について ※別紙【資料】参照

- ・昨年度報告（以前の校長勤務校・田峯小学校での実践：平27・28実践）に続き、前任校・田口小学校での令和3年度実践を報告
- ・報告内容は、5年生が年間を通して取り組んだ、『チャレンジSDG's』実践（総合的な学習の時間、特別活動等を組み合わせ、秋の学習発表会にて発信）

- * 環境学習の視点で、年間の、総合的な学習の時間のテーマを設定する
- * 社会科、理科での、森林や植物の学習教材を、身近な自然の中から選定する
- * 「みどりの少年団活動」「人権の花活動」で校内外とのつながりを意識する
- * 学習発表会での発信を想定し、学習班による調査活動やまとめを設定する
- * 「サマーキャンプ」「ブナ植樹」など、地域に学ぶ行事を適切に位置づける

2 提言したいこと（学校にできること～地域との連携）

- 自然環境に恵まれた地の子どもたちであっても、適切な働きかけがなければ、主体的に動き出せない！
- 限られた時数内で、子どもが主体的に学ぶ環境教育を展開するには、教科や総合的な学習、特別活動等を総括する「年間テーマ」を決めて取り組み、学年経営ともあわせ、ものの見方・考え方、行動についての変容、成長を評価したい！
- 地域の先達が取り組む、自然環境を守る「持続可能」な働きかけと関わらせ、その一翼を担う一員としての誇りをもたせたい！
※加藤氏「千年の森」構想は、着実に「人の寿命」を超え「持続可能」になりつつある！ 子どもたちの「驚き」「感嘆」のインパクトをさらに広げたい！

3 これからの課題（自身の中で、他と、「つながる環境教育」）

- ・「持続可能」な視点で、学校や社会教育の取組を見つめ直し、子どもたちにとって適切な活動の場を見出したい
- ・5年生の、校内や地域への発信が、下学年、家庭、ときには先輩をも刺激し、次の「気づき」や「行動」につながることを期待したい
- ・自然環境だけでなく、「ふるさとの歴史風土の中にいる自分」を誇ることができるよう、さらに地域に学び、豊かな体験活動を進める中で自信をもたせたい

【資料1】学校ブログによる活動紹介

※5年実践「チャレンジ SDG's 森の豊かさを守ろう」（総合的な学習の時間）
を中心とした年間の取組を、①～⑥のブログ記事で紹介

※抜粋して掲載（「①」ほか掲載省略の内容については「田口小学校ブログ」を参照）

- ①「緑を増やす 小さな一歩」（2021年5月28日） 略
- ②「『いまだ！』チャンス을いただきました ～『人権の花』」（同 6月23日）

今日は、「人権の花」運動の開会式がありました。

本校5年生の、みどりの少年団が、秋までにすてきな花を咲かせることを誓いました。

新城人権擁護委員協議会の会長さんからいただいた黄色のボードに、これからの活動記録を「つみあげ」ていきます！ 式では、校長からも、励ましのイラストを送りました。



式には、「人権まもるくん・あゆみちゃん」を始め、町のキャラクター「とましーなちゃん」も参加してくれたので、子どもたちも大いに盛り上がりました。

花を育て、町に広げる活動を進めていきます。

子どもたちの活動に、応援をよろしくお願いします。

- ③「育てた苗を届けます ～5年『人権の花』活動」（同 7月16日） 略

④「みんなで動き、みんなで楽しむ ～5年サマーキャンプ」(同 8月1日)

夏休みに入って最初の月曜、7月26日に、5年生がサマーキャンプを実施しました。例年、1泊2日で進めてきましたが、昨年度からは日帰りで行っています。本年度の5年生は、「つぐ高原グリーンパーク」を中心に、自然体験活動に挑戦します。

まずは、ニジマス釣り体験からスタートです。班で協力し、自分たちで釣ったニジマスを塩焼きにして味わった後は、自然の中での遊びをそれぞれが考え、ディスタンスを取りながら楽しんでいました。



午後からは、地域講師の加藤さんによる「自然観察」で、基本の学習をしてから、たっぷりフィールドワークを楽しみました。特ちょうのある草木の見分け方から、名前の由来、さらには、近隣に生息する鳥の生態まで、興味深いお話がいっぱいでした。加藤さんが50年以上前に作った鳥のはく製を使った説明もあり、子どもたちもしっかりと見入っていました。



明るいうちに帰校して、「防災食体験」を済ませると、いよいよ「星空観察会」の時間です。

ただ、この日はあいにくの曇天で、地域講師・後藤さんのスライドによる学習を中心に、少しだけ望遠鏡を使った観測をさせていただきました。この日は使えませんでした。後藤さんのご指導で一人一人が完成させた「星座早見盤」は、これからの子どもたちの星空観察に、大いに役立つと思います。



学習のめあてに掲げた、「みんなで動いて、みんなで楽しむ」ことがしっかりと達成でき、朝から夜まで、ほんとうに充実したサマーキャンプとなりました。

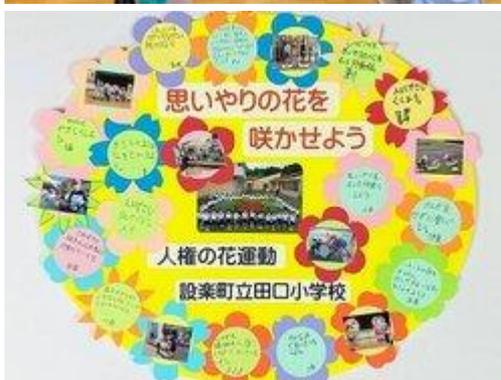
「つぐ高原グリーンパーク」の方々、地域講師の皆さん方、ありがとうございました。

⑤「咲かせました！ 人権の花！ ～『人権の花』運動閉会式」(同 11月10日)

新城設楽地区の人権擁護委員協議会から委嘱を受けた、「人権の花」運動の「閉会式」が、設楽町長さんをお招きして開催されました。5年生、みどりの少年団が中心になり、この夏から秋にかけて全校で進めてきた活動です。



団員一人一人からの活動報告の後、6月に協議会長さんからお預かりした「メッセージボード」に、ぎっしりと活動記録情報を載せて、「返還」を行うことができました。また、協議会長さんからは、温かい労いのお言葉もいただきました。続いて、町長さんからは、みどりの少年団に、活動への「感謝状」が手渡されました。





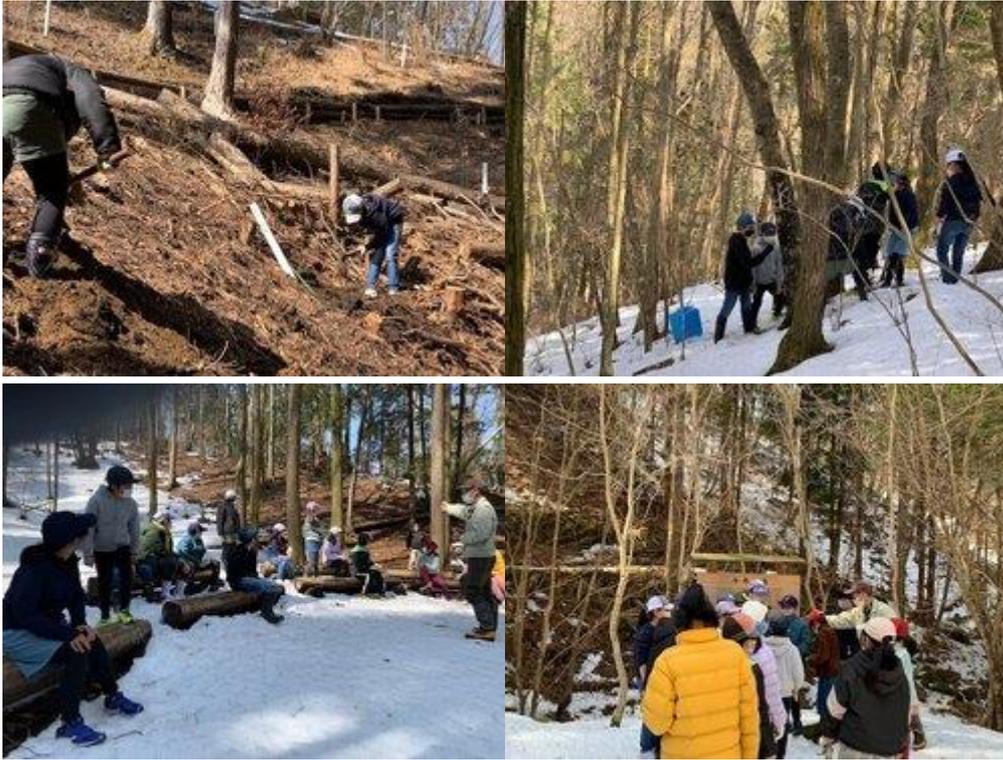
5年生の誇らしげな顔が、とても印象的な式典となりました。

この「つみあげ」を大切に、これからも全校の仲間、だれにでも思いやりの心で接し、自然を愛することのできる、すてきな田口小学校を創っていきたいと思います。

⑥「段戸山の自然に思いはせて ～ブナ植樹」(2022年3月11日)

当地の「自然の先生」加藤さんには、本校のサマーキャンプを始め、様々な自然体験活動をお支えいただいています。今日は、キャンプでお世話になった5年生が、設楽町内でも山深い地、残雪の沖ノ平地区に出向き、ブナの植樹体験をさせていただきます。加藤さんが、20年近く前に始められた『千年の森』プロジェクトに参加させていただくことで、子どもたちも楽しみにしていた活動です。





みんなで足もとに気をつけながら斜面を登って、ブナの木を植樹し、自分の木の証となる標柱を立てました。傍らには、何年も前の先輩の木があって「あっ、お姉ちゃんの木だ！」と、うれしい「出会い」をした子もいました。植樹後は、ブナの樹液の試飲体験もでき、よい植樹記念となりました。加藤さんは、次世代を担う子どもたちが『千年の森』プロジェクトに参加していくことに、たいへんな期待を寄せてくださいます。世代を越えて、命をつないで、活動が持続していくことで、すてきな山林が生き続けることは、本校の子どもたちにとっても本当に楽しみなことです。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました！

【資料2】学習発表会での発信（2021年11月27日）

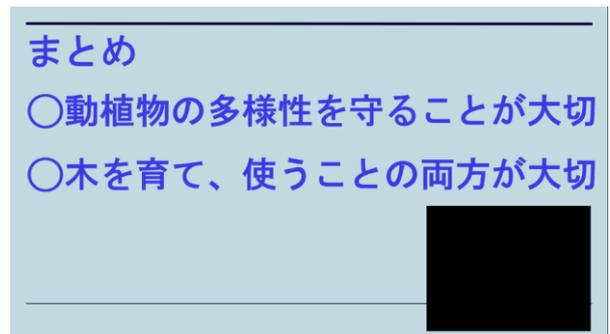
※それぞれの興味関心により、班別プロジェクトに挑戦（1～5班）

- 学習発表会では、子どもたちが作成した資料で、プレゼン発表を実施
- 当日は、各班オリジナルのちらしや冊子を配付し、保護者等の参観者に「自然環境を守るため」の呼びかけを行う



＜各班の発表テーマとまとめの概要＞

1班



2班



3班

チャレンジSDG's
木を育ててみよう！
～いろいろな木を育て、植物の多様性を守ろう～

Team hmh

まとめ
木を育てるのは簡単ではないけれど、
興味を持つ人が増えれば、
環境は変わる！

4班

チャレンジSDG's
木の魅力を伝えよう！
もっと木を使ってもらうために
木の様々な使われ方を調べ、アピールしよう♪

木いいね隊

まとめ

- ・木は様々な姿に形を変えるすごい素材！
- ・木は捨てる場所がなく地球環境にもやさしい素材！



5班

チャレンジSDG's
もっと使おう！木の道具！
もっと木を使ってもらうために、
木の道具の魅力を調べ、発信しよう♪

wood working

調べて分かった木の道具の魅力

温かみがある。
自分で手入れができる。
世界に一つの魅力がある。

プラスチックや金属に比べて
手入れは大変だけれど……